

【資料提供】
 平成23年4月28日
 島根県総務部消防防災課原子力安全対策室
 管理監 細田 晃（電話：22 - 5610）

島根原子力発電所周辺環境放射線等調査（通常調査）試料からの
 人工放射性核種の検出について

島根県では、島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保及び環境保全を図る立場から、安全協定に基づいて定める平成23年度測定計画^(*)により、環境試料を定期的に採取・測定しているところですが、この測定計画に基づく調査（以下「通常調査」という）の4月分調査を実施したところ、採取・測定した「浮遊塵」「松葉」「わかめ」から、放射性ヨウ素などの人工放射性核種が検出されましたのでお知らせします。

海藻類の「わかめ」からは放射性のヨウ素131が0.14 Bq / kg 検出されましたが、この値は、食品衛生法の規定に基づく摂取制限値2,000 Bq / kg の約14,000分の1であり、人体に影響はありません。

なお、島根原子力発電所に関しては、液体廃棄物の放出前にはサンプリングを行いヨウ素131を含む人工放射性核種が検出されていないことを確認しており、また排気筒モニタ等の放射線モニタの指示値にも有意な変動はないことから、今回の検出は島根原子力発電所に起因したものではないと判断しています。

また、県では、念のため、発電所周辺以外の海域（松江市美保関町）においても海藻類を採取し測定を行いました。その結果、「わかめ」から0.24 Bq / kg、「ほんだわら類」から0.47 Bq / kg のヨウ素131が検出されています。これらの検出値はいずれも、今回の通常調査で検出された値と同程度であり、人体に影響はありません。

なお、通常調査の結果は、四半期毎に島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会で分析評価した後に公表することとしていますが、この度は、今回の福島第一原子力発電所の事故に対応した環境放射線等監視強化の観点から、検出結果について速報値として公表することとしたものです。

検出された放射性核種の濃度

種類 【採取地点】	採取日	測定結果（速報値）	
浮遊塵 【御津・古浦】	3月2日 ～3月30日	ヨウ素131	0.000050 ～0.000060 Bq / m ³
松葉 【御津】	4月20日	ヨウ素131	3.9 Bq / kg 生
		セシウム134	1.2 Bq / kg 生
		セシウム137	1.1 Bq / kg 生
わかめ 【1号機放水口湾付近】	4月18日	ヨウ素131	0.14 Bq / kg 生

参考1 ~ 発電所周辺以外の海域での調査結果

種類 【採取地点】	採取日	測定結果（速報値）		
わかめ 【美保関】	4月26日	ヨウ素131	0.24	Bq/kg生
ほんだわら類 【美保関】	4月26日	ヨウ素131	0.47	Bq/kg生

参考2 ~ 他県における通常調査での検出例（福島原子力発電所事故以降）

	試料	検出された放射性核種の濃度		
石川県	わかめ	ヨウ素131	0.17	Bq/kg生
	ほんだわら	ヨウ素131	0.15~3.2	Bq/kg生
佐賀県	ほんだわら	ヨウ素131	0.77	Bq/kg生
愛媛県	ほんだわら	ヨウ素131	0.95	Bq/kg生

参考3 ~ チェルノブイリ原子力発電所事故時の県内での検出例

	検出された放射性核種の濃度		採取日(1986年)
松葉	ヨウ素131	224.52 Bq/kg生(最大)	5月11日
	セシウム134	23.97 Bq/kg生(最大)	5月11日
	セシウム137	44.98 Bq/kg生(最大)	5月13日
わかめ	ヨウ素131	8.80 Bq/kg生	5月28日

従前、県内における「松葉」「わかめ」からのヨウ素131検出はチェルノブイリ事故時のみ

* 1 平成23年度測定計画及び過去の測定結果を県ホームページで公開しています。

< 測定計画 > <http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/sihannki.data/H23-plan.pdf>

< 測定結果 > <http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/sihannki.html>